

新風

平成25年9月2日
多治見市立陶都中学校
No.9

「頭覆い」

多治見市立陶都中学校
校長 加納 昭仁

本校では掃除時間に「頭覆い（手ぬぐい）」をしています。これは、昭和56年度1年4組の提案で、翌年全校での取り組みとなったものです。当時、1年生は社会見学で長野県飯田市の飯田東中学校を訪問していました。長野教育を象徴するような学校で、木造校舎を徹底的に磨き上げる。床がピカピカになるまで磨き込む。そして、鉛筆1本も無駄にはせず、短くなるまで使い切る。そんな様子を見学してきた後、自分たちの学級の掃除を見直し、掃除の在り方について全校集会で1年4組が提案したのです。それを受けた翌年度の整美委員会が、「頭覆い」を全校での取り組みにとつなげたのです。今年で32年目となります。本校の誇るべき伝統と言えます。生徒は、年度当初雑巾に自分の弱さをマジックで書き、その文字が消える＝克服するまで床を磨き上げるのです。一年も経つと雑巾はボロボロになります。「頭覆い」を始めた生徒が、今は保護者になっています。つまり、世代を渡っての「つながり」となっています。大きな大きな財産と言えます。



年度当初：教師の掃除講習会の様子

しかし、考えて見ると30数年もどうして継続しているのかという疑問も残ります。多くの生徒が頭覆いに思いを込めて一生懸命掃除をしています。しかし、生徒の中には、「頭覆い」をしない生徒もいるのが実状です。「別に無くたって掃除はできる」という考え方があったって悪くはないと思います。形だけ続く伝統であってはならないと考え、「頭覆い」は本当に必要かどうかを今年1年かけて議論してほしいと生徒会役員に提言してみました。残るも、残らないもよし。原点を見つめてほしいと願っています。

家族の外や横とのつながり

多治見市教育委員会

子どもたちは、学校で多くの時間を過ごす生活が始まりました。各家庭では、新「家族の約束十二か条」のひとつである「早ね・早おき・朝ごはん、家族そろって晩ごはん」の生活はできているでしょうか。また、「園・学校行事、地域活動やPTA行事に積極的に参加して、つながりを増やしましょう」についてはいかがでしょうか。

今回は、家族の外や横とのつながりについて、特に、ひとり親家庭の親さんに「社協たじみ 母子福祉センター」より呼びかけがありましたので、掲載させていただきます。

9月の予定

4日(水)	PTA執行委員会
6日(金)	PTA高校見学・ALT
12日(木)	PTA高校見学
14日(土)	体育祭
17日(水)	振替休業日
19日(木)	体育祭予備日(給食なし)
20日(金)	体育祭予備日(給食有り) ALT
25日(水)	後期生徒会選挙
30日(月)	3年実力テスト

10月の予定

4日(水)	PTA執行委員会
11日(金)	前期終業式
15日(火)	後期始業式
17日(木)	3年三者懇談開始 ALT PTA地区委員会
18日(金)	ALT 漢字検定
19日(土)	1年環境作業 中体連東濃駅伝
22日(火)	市課題発表会(南ヶ丘中)
30日(水)	ALT
31日(木)	ALT